

システム情報工学研究科特定課題研究報告書概要

年 度	平成 23 年度	学 位 名	修士（ビジネス）
専 攻	経営・政策科学	専攻	著者氏名 バト Cholun アリマー
指導教員氏名 渡辺真一郎			
報告書題目 看護行動の決定要因に関する研究 (職務満足度と転職意識との関係について)			
報告書概要 <p>医療の進展、長期慢性疾患患者の増加など、患者の質的・量的ニーズは多様化し、看護の対応も変化している。この現状に効果的に対応できる看護師の確保が世界中の国々にとって大きな課題となっている。日本をはじめとするアジアの諸国では看護師の離職及び人材不足が重大な問題となっている。日本での深刻の一途を辿る少子高齢を考慮すると医療組織による、看護師の確保問題はいまだに深刻だと言えよう。</p> <p>本研究では、看護師の職務満足度が転職意識に及ぼす影響をより明確に理解するために、職務の内的要因・外的要因に対する満足(Intrinsic/Extrinsic Job Satisfaction)に分け、転職意識との関係を検証することを目的した。</p> <p>研究結果として外的職務満足である給与、病院政策、昇進機会、仕事の社会的地位、上司・同僚との人間関係、承認が転職意識を低減させることが示された。しかし、仕事そのものに対する内的満足は転職意識に影響を及ぼさない可能性があることを示された。その原因として、看護の仕事そのものが周知の通り特殊で重労働である。労働条件の重みが仕事そのものの満足度の効果を打ち消したと思われる。この結果を考慮することによって、それらの満足要因に重点を置いた対策を講じ、安定的な雇用を維持できるようになるのではないかと考えられる。</p>			
審査日 平成 24 年 1 月 25 日			
審査員	(大学名 職名)	(学位)	(氏名)
主査	筑波大学 准教授	工学修士	大貫 裕二
副査	筑波大学 教授	Ph.D. in Organizational Behavior	渡辺 真一郎
副査	筑波大学 教授	博士(経済学)	吉田 あつし